



平窪の学舎

December

第24号

餅つきをして「収穫祭」・「学習田新看板」も披露（5年生）

5年生が、11月13日(金)に、学習田で収穫したもち米を使って餅つきをし、収穫祭を行いました。平支援学校からも1名のお友達が参加しました。PTA本部役員と第5学年サポート員(保護者)の皆様にお世話になり、子どもたちは万全な感染防止策を図った上で餅つきと餅ちぎりを体験し、おいしいお餅をいただくことができました。そして、改めて収穫の喜びを味わうことができました。

また、この日、学習田の新看板の披露も行いました。旧看板が今年の災害で壊れてしまい、PTA本部役員の皆様の発案で、新しい看板を製作していただきました。看板は、2枚で、それぞれのデザインは各学級の看板製作実行委員が考えたものです。1枚は、たわわに実った稲穂を見て喜ぶ子どもたちの姿、もう1枚は、田の生き物を観察する様子が描かれています。どちらもすてきなデザインです。間もなく設置される予定です。

最後になりましたが、学習田をお貸し下さっている木田一源様・木田幸基様、田植えや稲刈りの指導と田の管理を行って下さっている鈴木義直様に御礼を申し上げます。



楽しかった「校内オリエンテーリング」（縦割り班活動）」

11月18日(水)、全校児童が「縦割り班(異学年の交流を目的に、1年生から6年生までの児童が所属して班を作り、協力し合いながら活動する班。清掃もこの班で行っています。)」に分かれ、「校内オリエンテーリング」を行いました。オリエンテーリングでは、限られた時間内に各教室や体育館を訪れ、クイズやゲーム、ダンスなどの課題にいただきました。感染防止を意識しながら、協力し合い、楽しく活動しました。子どもたち同士のほほえましい光景がたくさん見られ、うれしく感じました。



